

宇宙と芸術展  
特別カレンダー

参考 ほしぞら情報 2016年 | 国立天文台 (NAOJ)  
http://www.nao.ac.jp/astro/sky/2016/

7月 Jul.

30日[土] みずがめ座の流星群 ●

8月 Aug.

9日[火] 伝統的七夕 ●

サマーナイト・ミュージアム  
“宇宙と芸術展”と  
“星空”をみよう! ●

12日[金] ペルセウス座流星群 ●

26日[金] 星のおはなしとワークショップ  
天体望遠鏡をつくろう ●

9月 Sep.

15日[木] 中秋の名月 ●

10月 Oct.

21日[金] オリオン座流星群 ●

11月 Nov.

14日[月] 大きく見える満月 ●

17日[木] しし座流星群 ●

12月 Dec.

14日[水] ふたご座流星群 ●

- 森美術館パブリックプログラム  
※詳細は森美術館ウェブサイトをご覧ください。
- 流星群 / ● 満月 / ● 日本の伝統行事

宇宙と芸術展  
THE UNIVERSE AND ART

かぐや姫、ダ・ヴィンチ、チームラボ  
PRINCESS KAGUYA, LEONARDO DA VINCI, TEAMLAB

会期: 2016年7月30日[土] - 2017年1月9日[月・祝] 会場: 森美術館 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー53F  
開館時間: 10:00-22:00 | 火10:00-17:00 \*いずれも入館時間は閉館時間の30分前まで \*会期中無休  
入館料: 一般1,600円 学生(高校生・大学生)1,100円 子供(4歳~中学生)600円  
\*表示料金に消費税込 \*展望台 東京シティビュー、屋上スカイデッキへは別途料金がかかります。

お問い合わせ: Tel 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

主催: 森美術館、NHK、NHKプロモーション、読売新聞社 企画協力: 龍谷大学 龍谷ミュージアム、金沢工業大学ライブラリーセンター  
助成: 在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ 協賛: NEC、株式会社大林組、IHI運搬機械株式会社  
特別協力: 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 制作協力: パナソニック株式会社 協力: 日本貨物航空株式会社、シャンパーニュ ポメリー

www.mori.art.museum

表紙: トム・サククス (ザ・クローラー) 2003年 Tom Sachs The Crawler Galerie Thaddaeus Ropac, Paris/Salzburg Photo: Philippe Servent

宇宙と芸術展  
THE UNIVERSE AND ART  
キッズ ミッション パスポート

ミッションをクリアしてステッカーをもらおう!



私のご案内します!



DEPARTED  
JUL. 30 (SAT), 2016 - JAN. 9 (MON), 2017



KIDS' PASSPORT TO MISSION

森美術館 | 2016年7月30日[土] - 2017年1月9日[月・祝]

MORI ART MUSEUM

# ミッション:宇宙を体感せよ!

ミッションをクリアしたら〇してね!  
すべてクリアしたら、  
53階入口カウンターでミッション  
ステッカーを差し上げます♥



空山 基 《セクシーロボット》  
2016年  
Sorayama Hajime  
Sexy Robot  
Courtesy: NANZUKA 撮影: Tanaka Shigeru

## 生きている太陽を感じる

セミコンダクター  
《ブリリアント・ノイズ》 2006年

人工衛星がとらえた太陽の映像から、すさまじい  
エネルギーが伝わってきます。聞こえてくる音は、  
太陽の光の強さを音で表現したものです。

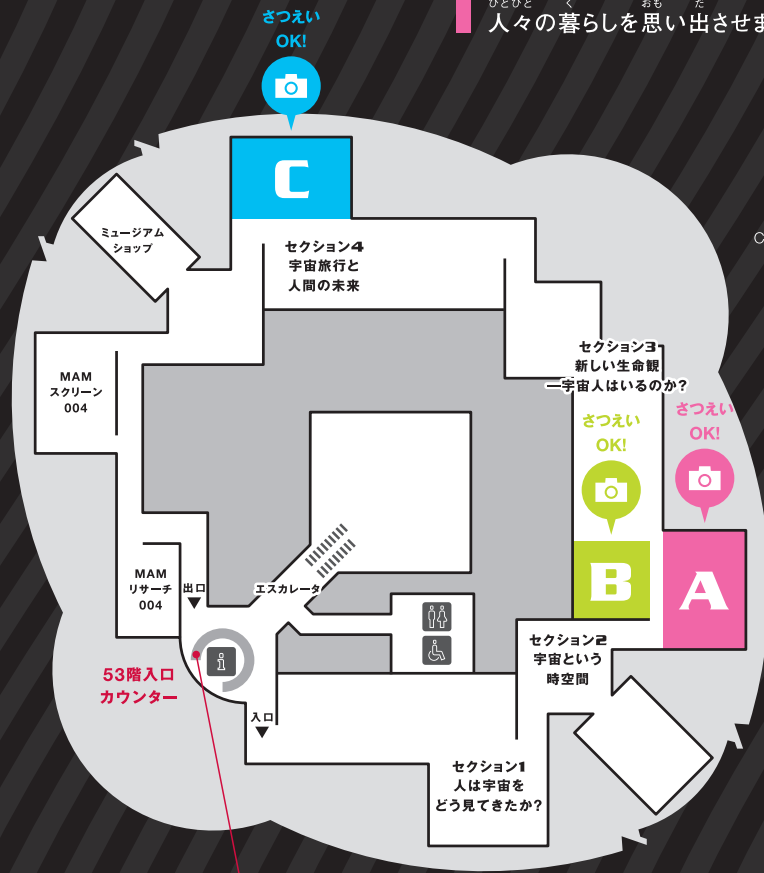
ミッション  
**B**



Semiconductor  
Brilliant Noise



イメージ画像



## 宇宙の時間を見る

コンラッド・ショウクロス  
《タイムピース》 2013年

日時計は時間をはかるために人が最初に使った  
方法のひとつです。自然が身近であった古代の  
人々の暮らしを思い出させます。

ミッション

**A**

クリア

Conrad Shawcross  
Timepiece  
展示風景: ラウンドハウス、ロンドン  
Courtesy: Victoria Miro, London



## 宇宙遊泳を味わう

チームラボ

《追われるカラス、追うカラスも追われるカラス、  
そして衝突して咲いていく—Light in Space》  
2016年

空間を早いスピードで動くのはヤタガラスです。  
日本の神話に出てくるカラスで、太陽の化身ともいわれます。  
色や形が変わり、宇宙にいるような感じがしませんか?



teamLab  
Crows are Chased and the Chasing Crows are  
Destined to be Chased as well,  
Blossoming on Collision—Light in Space



他にも写真さつえいできる作品があるよ!

# 人は宇宙をどう見てきたか？

How Have Humans through the Ages Viewed the Universe?

## SECTION

セクション

# 1

あの有名なおはなしです。

かぐや姫のおはなしを知っていますか？ 『竹取物語』は日本で一番古い物語とされています。江戸時代に作られた絵巻の最後には、かぐや姫が月へ帰る場面が描かれています。



※5期にわたり展示替えをします。写真の作品は8/31(水)から11/8(火)まで展示されます。

▲ 『竹取物語絵巻』(第三巻) 江戸時代

Takekoto Monogatari (The Tale of the Bamboo Cutter), volume 3 of 3  
所蔵: 泉屋博古館

隕石からできた刀なんです。

この日本刀は明治時代、富山県に流れ落ちた隕石から作られました。隕石を見つけた人は、隕石とは知らず、最初は漬物石として使っていたそうです。高い技術によって作られた貴重な刀です。

▲ 岡吉国宗《流星刀》1898年

Okayoshi Kunimune  
Meteorite Sword  
所蔵: 東京農工大学図書館 撮影: 木奥恵三

▼ 国友藤兵衛重恭(国友一貫齋)  
《反射望遠鏡 銘一貫齋眠龍能当(花押)》  
1836年(江戸時代)

Kunitomo Tobee Jukyo (Kunitomo Ikkansai)  
Reflecting Telescope "Ikkansai Minryu Noto"  
所蔵: 長浜市長浜城歴史博物館

鉄砲を作る技術を使って、日本で初めて作られた望遠鏡です。国友一貫齋はこの望遠鏡で天体観測も行いました。当時の最先端であった外国製と同じくらいよく見えると評判になりました。



今も昔も宇宙への憧れは変わりません。

# 宇宙という時空間

The Universe as Space-Time

## SECTION

セクション

# 2

ブラックホールのまわりをまわる銀河系と、11次元もあるという新しい宇宙の考え方が表現されています。銀河系の外にもたくさんの星があると思うと、地球もそのひとつであることがわかります。

美術館に、ブラックホール出現？



▲ ビョーン・ダーレム《ブラックホール(M-領域)》2016年

Björn Dahlem  
Black Hole (M-Spheres)  
撮影: プレイス・アディロン 2008年 画像提供: サーチ・コレクション、ロンドン

あたらしい せいめい かん うちゅうじん  
**新しい生命観 一宇宙人はいるのか?**

A New View of Life — Do Aliens Exist?

**SECTION**

セクション

**3**

うちゅうりょ こう にん げん みらい  
**宇宙旅行と人間の未来**

Space Travel and the Future of Humanity

**SECTION**

セクション

**4**



▲ 万寿堂『小笠原越中守知行所着舟』(「漂流記集」より) 江戸時代後期

Manjudō The Strange Boat Drifted Ashore on Fiel of Lord Ogasawara from "Hyoryu-ki-shu" (Archives of Castaways)  
 所蔵:西尾市岩瀬文庫

1803年(享和3年)にUFOによく似た「うつろ舟」が流れついたという話が描かれています。舟にはふしぎな文字が書かれ、美しい女の人に乗っていたといわれています。本当にUFOが来たのでしょうか? 答えは今も謎のままです。

江戸時代のUFO!?

みらい いのち  
**未来の命のカタチとは?**

この生き物は人間でしょうか。みたことのない宇宙の生き物でしょうか。私たちの命が、どのように生まれ、たかはわかっていません。でも、科学技術を使えば、新しい命を作りだすこともできるかもしれません。

パトリシア・ピッチニーニ 《ザ・ルーキー》 ▼

2015年

Patricia Piccinini  
 The Rookie  
 作家蔵



Photo courtesy: Tolarno Galleries, Melbourne; Roslyn Oxley9 Gallery, Sydney; Hosfelt Gallery, San Francisco



うちゅう  
**宇宙ステーションから  
 とった写真がアートに?**

ARTCOURT Gallery

わか た こういち うちゅう ひこうし こくさい  
 若田光一宇宙飛行士が、国際宇宙ステーション(ISS)「きぼう」から撮影した月のクレーターを音符に見立て、五線譜と重なるそのままの位置から、音楽が作られました。

▲ 野村 仁

《'moon' score: ISS Commander — Listening to it on Mars, now.》  
 2009年(写真)、2013年(譜面)、2009-2013年(CD)

Nomura Hitoshi  
 'moon' score: ISS Commander - Listening to it on Mars, now.  
 作家蔵  
 協力:JAXA宇宙環境利用センター  
 撮影:豊永政史  
 画像提供:アートコートギャラリー

つき おんがく  
**月の音楽はいかが?**

